



2020. 7. 13

発行 米軍Xバンド レーダー基地反対・京都連絡会

連絡先 〒602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則

電話&FAX 075-467-4437

郵便振込口座 00950-9-303127 名義 京都連絡会

絶滅危惧種
京丹後のハヤブサ

6/24 京丹後市に申し入れ

防衛局は住民・京丹後市との約束を守れ!

京丹後市は「住民の安心・安全」をまもれ!

滝川順朗



京丹後市庁舎前でアピール

京丹後市の6月議会の開催にあたり、米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連絡会は6月24日、市役所前でのアピール行動と京丹後市に対する申し入れ行動を行いました。

(初当選の)永井さんも玄関に出てこられました。この度の6月議会は、4月に行われた市長選で帰り咲いた中山市長と市議選で選ばれた20名の市議にとって初の議会開催となります。また、米軍基地問題にとっても、住民の「安全・安心」を守るための米軍・防衛局との約束が、前任の三崎市長の下でことごとく反故にされてきた経緯があり、京丹後市長及び市議会がこの問題にどのような対応をとるのか、注目される6月議会です。

申し入れの主旨は、繰り返される米軍・防衛局の約束を反故にしてきた住民無視に対し、新しく発足した京丹後市政が基地問題について徹底した検証を行い、毅然とした対応をすることを求めています。

最近起こった新たな問題は、騒音問題です。問題は、①米軍が発電機のメンテナンスを理由に住民との約束を破り、昼夜運転を2日から17日までの長期にわたって連続したこと、②京丹後市から2, 4, 8日の3回にわたる「直ちに停止するよう」との緊急申し入れがあったにもかかわらず、米軍は無視を続け発電機

のメンテナンスを優先した。

③防衛局は米軍の行為を抑止しなかったこと、である。17日になって防衛局は「17日午後3時ごろ(発電機を)停止したとの連絡が米軍からあった」と京丹後市に連絡してきた。「軍隊は住民を守らない」という沖縄の教訓は京丹後でも起きている。

この米軍・防衛局の住民無視を許さず、日米地位協定の抜本改正を求めて住民の声を背景に京丹後市政を変えなければならないと考えています。尚当日は、京丹後市への要請とアピール行動のほか、基地対策室訪問、米軍基地及び自衛隊基地前での抗議行動を行い、島津地区の「看板」周辺の草刈りも行いました。

米軍属の酒気帯び運転・物損事故を徹底究明し、日米地位協定の抜本改正を実現しよう!

追伸! (京都府知事、防衛局に「事故原因の徹底究明を!」)

京都府の西脇知事は、7/7付で防衛局に対して「米軍関係者の酒気帯び運転による交通事故の発生にかかわる申し入れ」を行った。

6/13、米軍経ヶ岬通信所の公務外の軍属が京丹後市内で酒気帯び運転し物損事故を起こし、京都地検宮津支部に書類送検された。京都府は、「法令違反であり、断じて許されない。二度と生じることのないよう事案の詳細を明らかにせよ」と申し入れた。

追伸2 (京丹後市長、防衛局に「全ての事故を報告せよ!」)

7/10 防衛局、米軍司令官を含む緊急の「安安連」を開催。中山市長「重大事故で言語道断、強く抗議する。最初の(約束)状態から検証」を求め「こちらに道理がある、全事故開示」を強く求めた。

事故は6/13、米軍から6/16に正式報告あり。

防衛省から京丹後市への報告は7/7、事故から3週間。防衛省の隠ぺい、言い訳を許さず日米地位協定抜本改正へ更に闘いを強めよう! (追伸は文責大湾)

「京丹後訪問」は7/18(土) 8:30集合

鴨川五条大橋西詰ガソリンスタンド前

配車の関係で参加希望者は連絡ください。

連絡先 090-7108-5508 池田まで

永井友昭さん（京丹後宇川の風代表）を迎えて 米軍Xバンドリーダー基地撤去！ 7・5京都集会 駒井隆之



「京都連絡会」京都集会

7月5日、上記集会が京都府部落解放センターで開かれ、約50人が参加しました。

最初に「京都連絡会」共同代表の大湾宗則さんが「宇川・京丹後が米軍再編交付金に頼らなくとも生活し、生き続けられる地域を再建する闘い抜きには基地撤去闘争の展望は切り開けない。この課題を実現するため、京丹后市議会議員（京丹後宇川の風・代表）となった永井友昭さんと力を合わせ京都連絡会も全面協力することが必要である。」と主催者あいさつをおこないました。

次に京丹后市議会議員の永井友昭さんが発言し、選挙活動に対する支援のお礼を述べた後、米軍基地問題など議会での一般質問の内容について報告しました。

そして連帯労組関西生コン支部から、「これから反転攻勢に出る。」との力強いアピールがありました。今後の行動提起を「京都連絡会」事務局長の山本純さんが行い、「私たちの活動は自粛、自粛という形で縮こまっているわけにはいかない。永井さんと連携を強めながら反撃していく闘いを全力で再開していきたい。あと一点、沖縄の万国津梁会議の「提言」について非常に危惧している。沖縄の闘いと本土の反基地運動の対立が生み出されていくのではないか。こういう危惧を沖縄県のほうに、また沖縄の人々に伝えていくことにしっかり取り組んでいかなければならない。」と述べ、集会を終えました。

集会後、「永井友昭さんの市議選勝利を祝う京都のつどい」を開き、みんなで永井さんの当選を祝いました。コロナ禍にもかかわらずご参加の皆様にお礼申し上げます。



永井さんを応援する会「祝勝会」

朝鮮戦争休戦協定から67年 東アジアの平和に向けた 闘いを強化しよう

山本純

1950年6月25日に開始された朝鮮戦争の休戦協定が締結されたのは、1953年7月27日であった。

休戦協定は、戦闘行為の休止や北緯38度の軍事境界線の設置などを規定しただけではなく、「朝鮮半島からのあらゆる外国軍の撤退問題および朝鮮問題の平和的解決などを交渉により解決すべく、…ハイレベルの政治会談を開催する」（休戦協定第60節）ことを明記していた。すなわち、朝鮮戦争を終結させる平和協定の締結を勧告するものであった。

しかし、朝鮮戦争に参戦した中国人民解放軍は1958年10月までに全軍が朝鮮半島から撤退したが、米軍は1953年10月に米韓相互防衛条約を締結して韓国をアメリカの「核の傘」のもとに置き、休戦協定締結から67年を経た現在も「国連軍」と称して韓国に駐留しつづけている。その間、朝鮮民主主義人民共和国（以下、朝鮮）は一貫して平和協定の締結を要求してきたがアメリカはそれを拒否し、朝鮮に対する軍事的包囲と戦争態勢を強化してきた。

これに対して朝鮮は2003年1月に米国の軍事的脅威を理由に「核拡散防止条約」からの脱退を通告、核と弾道ミサイルの開発を推進してきた。このような経過が示すように、朝鮮半島・東アジアにおける軍事的緊張と戦争の危機の主要な責任は、休戦協定に反して米軍を韓国に駐留させ続け、平和協定の締結を拒否してきた米国にある。

2018年の三度の朝鮮南北首脳会談、6月12日の米朝首脳会談の実施は、このような状況を転換させるのではないかと歓迎された。

しかし、それから二年を経ても米国は朝鮮への過酷な経済制裁の緩和を拒否し、平和協定の締結もまったく進展していない。朝鮮は6月16日、開城の南北共同連絡事務所の爆破を実施し、2018年9月の平壤での南北首脳会談における「南北軍事分野合意書」の無力化を宣言した。

朝鮮半島情勢は、再び緊迫していこうとしている。朝鮮半島・東アジアの平和に向けた闘いがあらためて強化されねばならない。

イージス・アショア配備撤回 と安保・防衛戦略の転換策動

池田高巖

安倍政権がイージス・アショア（陸上配備型迎撃ミサイルシステム）の配備計画を撤回した。まず6月15日の記者会見で、河野防衛大臣がイージス・アショアの配備のプロセスを「停止」と発表。

6月24日には、安倍首相を議長とする国家安全保障会議（NSC）が、配備「撤回」の方針を確認した。正式決定は、国家安全保障計画、防衛大綱、中期防衛力整備計画の改定とあわせて12月になるが、その方向性はすでに確定している。

維持費を含めて2基で6000億円以上がかかるとされるイージス・アショアは、安倍政権の軍拡路線の象徴のひとつであった。その撤回にはいくつかの複合的な要因があるだろうが、そのなかで何よりも地元住民の反対運動の存在を確認しておく必要がある。

私は昨年の夏、イージス・アショアの配備先のひとつとされた自衛隊むつみ演習場がある山口県の萩市・阿武町を訪問し、地元の住民たちと交流する機会を得た。とくに阿武町には町ぐるみでの反対運動があった。

阿武町は人口約3200人の小さな農村だが、有権者の約6割がイージス・アショアに反対する「町民の会」の会員となり、それを背景に町長もはっきりと配備反対を表明してきた。阿武町では人口減に歯止めをかけるために町民が主体になって魅力ある「まちづくり」を進め、Iターン・Uターンの若者を積極的に受け入れて、全国的に見ても成功してきた。そのような方向性とまったく対立するものであったことが、町民が反対運動に立ち上がる大きな根拠となってきた。

同じように秋田でも、配備予定地（自衛隊新屋演習場）周辺の町内会が子育て世代の声なども汲み取りながら、住民ぐるみで反対の声をあげてきた。今回のイージス・アショアの配備撤回はそのような住民の立ち上がりの勝利だ。それはまた、米国を中心にして進められてきた東アジアにおける「ミサイル防衛」（MD）ネットワークの構築に一定の軌道修正を迫るものでもある。

しかし、安倍政権は今回の事態を利用して、日本の独自武装を飛躍的に強化させる「敵基地

攻撃能力」の保有に踏み出していこうとしている。＜「迎撃」システムを撤回するから、その代わりに「攻撃能力」を保有する＞というのは論理に飛躍があるが、いずれにせよ安倍政権はこれを機会に、先制攻撃を可能とする態勢を公然とつくりだそうとしている。第二次世界大戦での日本の敗北によって課せられてきた軍事的制約を今こそ突破して、文字通り戦争のできる国へと日本をさらに大きく変貌させていこうとするものだ。

この安倍政権の動きは、戦後日本の安保・防衛戦略の一大転換を図ろうとするものであり、改憲策動をさらにエスカレートさせるものだ。それはまた、さらなる軍拡へとつながり、朝鮮半島―東アジアの緊張を日本の側から高め、核戦争をも誘発するきわめて危険な策動である。

現在のコロナ禍のなかで、人々の命と生活を守るのではなく、東アジアの平和に敵対し、軍事態勢の飛躍的強化を狙う安倍政権を打ち倒すために闘おう。



「街なかビラ」の報告
第98回 6月22日（月）
出町商店街周辺 5人
この日から「街なかビラ」№15に変わりました。

ヒオウギスイセン

- ◆ 商店街のお店はどの店も気持ちよく受け取って貰えた。「出町座」にも10枚ほど置かせて貰った。
- ◆ 饗庭野で基地反対運動をしている女性が、「頑張ってや」と力強いエールを送ってくれました。
- ◆ ビラを見て「丹後のことですね。でも、向こうの人は何も言われませんね～。そうか、ムラですしね。持ち帰ってしっかり読みます」（間人出身の女性と話をしました）
- ◆ 人通りは少なくともビラの受け取りは良く、受け取ったビラを信号待ちなどで熱心に読んでおられる人が多かったです。

＝今後の日程です＝

第99回 7月13日（月）大手筋商店街＜終了＞

第100回 7月28日（火）三条商店街

集合場所は市バス「堀川三条」停前です。

第101回 8月10日（月）北区 御園橋商店街

集合場所：市バス「上賀茂御園橋」停留所

第102回 8月24日（月）北野白梅町 周辺

集合場所：市バス「北野白梅町」停留所

※ 時間はいずれも11:00～12:00です。暑さ厳しいです。無理のない参加をよろしく。連絡先090-5672-1597（白井）

辺野古埋め立てでは阻止できる!

大湾宗則

政府は 6/12 に辺野古埋め立て工事を再開しました。これに対して 6/15 から辺野古・塩屋、安和で沖縄現地の闘争も再開されました。

コロナ禍で沖縄県職員が激務の中、防衛局は 4/21 埋め立て設計概要変更申請をしました。

イージスアショアの撤回は、秋田、山口の地元の広範な団結が勝ち取ったものです。

6/15 に河野防衛相は、イージス・アショアの撤回を表明しました。これに対して自民党内の元防衛相経験者たちから「唐突だ」との不満の声と「敵基地攻撃能力を検討すべきだ」の声が出ています。これは戦後日本の軍事戦略の質的転換(防衛から攻撃型体系)を進めようとしています。彼らが言う「辺野古見直し」は、軍民共用やメガフロート型基地建設であって決して辺野古新基地を中止するとは言っていません。

辺野古埋め立て阻止は必ず勝利する!

辺野古埋め立てを阻止する三大条件は、①生活に根差して現地が闘うこと、②反対する科学的根拠があること、③連帯が広がることです。

軟弱地盤(予定地の 1/3)に 77,000 本の砂杭を海底 90 メートルまで打ち込む機材は日本にも世界にもなく工事は不可能です。しかし安倍政権は、この工事続行に工期を 12 年延ばし、9,300 億円超のムダ金を計上しています。

また、防衛省の資料を基に辺野古埋め立て変更申請書を地質科学者の立場から調査した新潟大学の立石教授は「新基地予定地に辺野古・楚久に二本の活断層があり、震度 1 の微震で砂杭は倒壊する」と断定した報告書を出しています。

この科学的データに基づいた事実、辺野古新基地建設を粘り強く闘ってきた沖縄の人々を勇気づけています。

危惧することがあります。

こうした現場の闘いを軽視し、日米両政府の思惑に沿って「解決者」として登場する政策グループがあるからです。沖縄県知事の諮問機関「万国津梁会議」の「提言」がそれです。

「普天間基地の危険性を除去し、辺野古埋め立てをやめさせる」という口実で「米軍再編を利用して Guam や日本に普天間基地機能を分散配備する」という趣旨のものです。

とりわけ日米安保・日米同盟を積極的に受け入れて日本列島全域への日米軍事基地の共同使用が拡大されるのです。米軍 X バンドレーダ

一基地反対・京都連絡会は、沖縄県知事に「提言」を沖縄県政に取り入れられないよう要請書を送付しました。(同封資料 参照)

この日米安保・日米同盟の軍事再編こそ、中国、朝鮮を敵視して東アジアの軍事的緊張を煽り、日本政府が軍拡と治安強化、そして憲法改悪を進めるための不可欠な戦略だからです。

「提言」に異議あり! 「意見書」を沖縄県へ!

辺野古新基地建設に反対する沖縄現地から「沖縄防衛局の『設計変更申請』はココがオカシイ」という「意見書」を玉城知事に届けてください、という呼びかけが届いています。

誰でも当事者として「意見書」を知事に届けることが可能です。万国津梁会議の詐欺的な暗躍を許さず、沖縄の人々を勇気づけ、辺野古埋め立てを完全にストップさせるのは、人々の団結と闘いであり、声を上げ行動すること、そしてより多くの人々の共感を得て圧倒的な数の力を示すことです。問われているのは日本列島に暮らす私たちです。

辺野古埋め立て反対を訴える共同街頭宣伝

日時 7月16日(木)18 30~19 30

場所 京都タワー前(マイクとパネルスタンディン)
連絡先 090-4643-2940 (増野)

No X-Band 「京都連絡会」 7月例会

イージス・アショア配備撤回と日本の安保・防衛戦略
講師 池田高巖さん

日時 7月28日(火)18 30

場所 ひと・まち交流館 連絡先 090-1590-9469 山本

No X-Band 「京都連絡会」 8月例会

朝鮮戦争休戦協定67年 アジアの平和を考える

講師 山本 純さん

日時 8月27日(火)18 30

場所 東山いきいき市民活動センター2階集会場
連絡先 090-1590-9469 (山本)

琉球遺骨返還訴訟

日時 7月30日(木) 14 00

(京都地裁前集合 13 30 抽選あり)

北上田毅さん講演会

辺野古埋め立て建設設計変更申請の問題点

日時 7月27日(月)18 30開演~21 00

場所 ひと・まち交流館 第4・第五会議室
参加費 500.- (割引 応相談)

辺野古埋め立て反対!京都実行委員会

連絡先 090-4643-2940 (増野)